



大磯 移住 ガイド
大磯 移住 ガイド

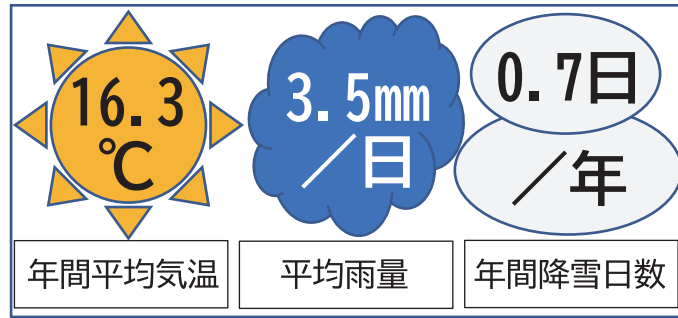


❖ 町の概要

神奈川県の中南部（東経 139 度 18 分、北緯 35 度 18 分）に位置しています。南は相模湾、北は高麗山や鷹取山をはじめとした大磯地域の丘陵地帯です。

町を東西に横断する形で、国道 1 号、JR 東海道線が走っており、北と東は平塚市、西は二宮町と境を接しています。

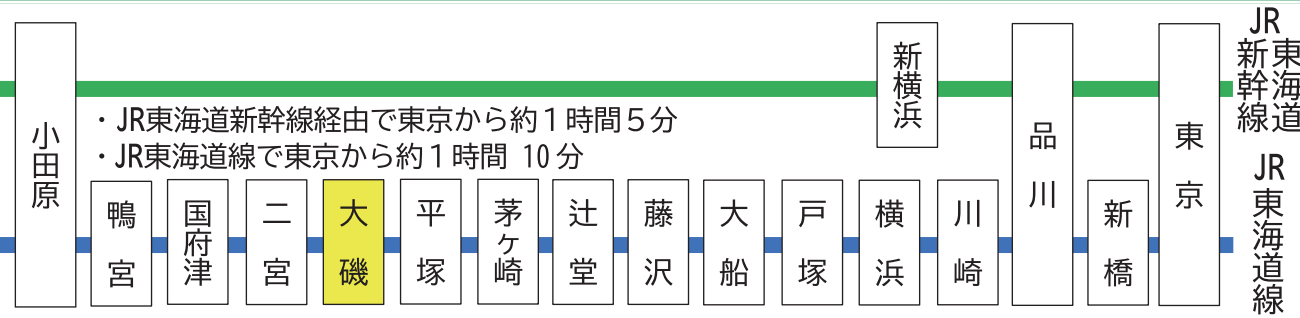
東西約 7.6 キロメートル、南北約 4.1 キロメートルのやや東西に長い形をしており、面積は 17.23 平方キロメートルで、市街地は国道 1 号沿いの平坦部に形成されています。まちの 65% を丘陵部が占め、気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。海があり山がある、自然豊かな、歴史の息吹を感じるまちです。



比較的温暖で、めったに雪が降りません。

出典：令和 2 年度版大磯の統計より
(平成 23 年から令和 2 年までの平均)

都心からのアクセス



教育施設



高等学校 2、中学校 3
小学校 3



幼稚園 3、保育所 2、認定こども園 2、
小規模保育施設 1、幼児教育施設(認可外) 1

町の所在



町内の主要施設

① 町役場・保健センター	⑩ 子育て支援総合センター	県	⑳ 県立大磯高等学校
② 役場支所	⑪ 子育て支援センター		㉑ 大磯港
③ 大磯幼稚園	⑫ 国府保育園	民間施設	㉒ サンキッズ大磯(保育所)
④ たかとり幼稚園	⑬ 生涯学習館		㉓ 認定こども園サンキッズ国府
⑤ 大磯小学校	⑭ ふれあい会館		㉔ こいそ幼稚園
⑥ 国府小学校	⑮ 図書館		㉕ 聖ステパノ学園(小中学校)
⑦ 大磯中学校	⑯ 郷土資料館		㉖ 認定こども園あおばと
⑧ 国府中学校	⑰ 障害福祉センター		㉗ もあな・こびとのこや(小規模保育施設)
⑨ 教育研究所	⑱ 世代交流センター		㉘ 私塾まきば(認可外幼児教育施設)
	⑲ 運動公園		㉙ 星槎国際高等学校

・移住支援総合窓口

移住に関する相談の総合窓口です。

電話、メール、オンライン(要予約)での相談が可能です。お気軽にご相談ください。

・電話：0463-61-4100 (内線 205 政策課)
受付時間：9：00～17：00 (土日祝日除く)
・メールフォーム、オンライン相談予約：町HP
<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/soshiki/seisaku/seisaku/tantou/ijyu/15538.html>より
受付時間：随時 相談日時：要相談



相談窓口



・暮らしの魅力を伝える

フリーペーパー「大磯暮らし」

大磯らしいライフスタイルを実践している移住者・町内在住者を紹介しています

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/isotabi/stay/tomarupage/14459.html>



大磯暮らし

・ふるさと回帰支援センター大磯 (一般社団法人海鈴大磯)

大磯移住サポート情報サイト oisonisumu.com



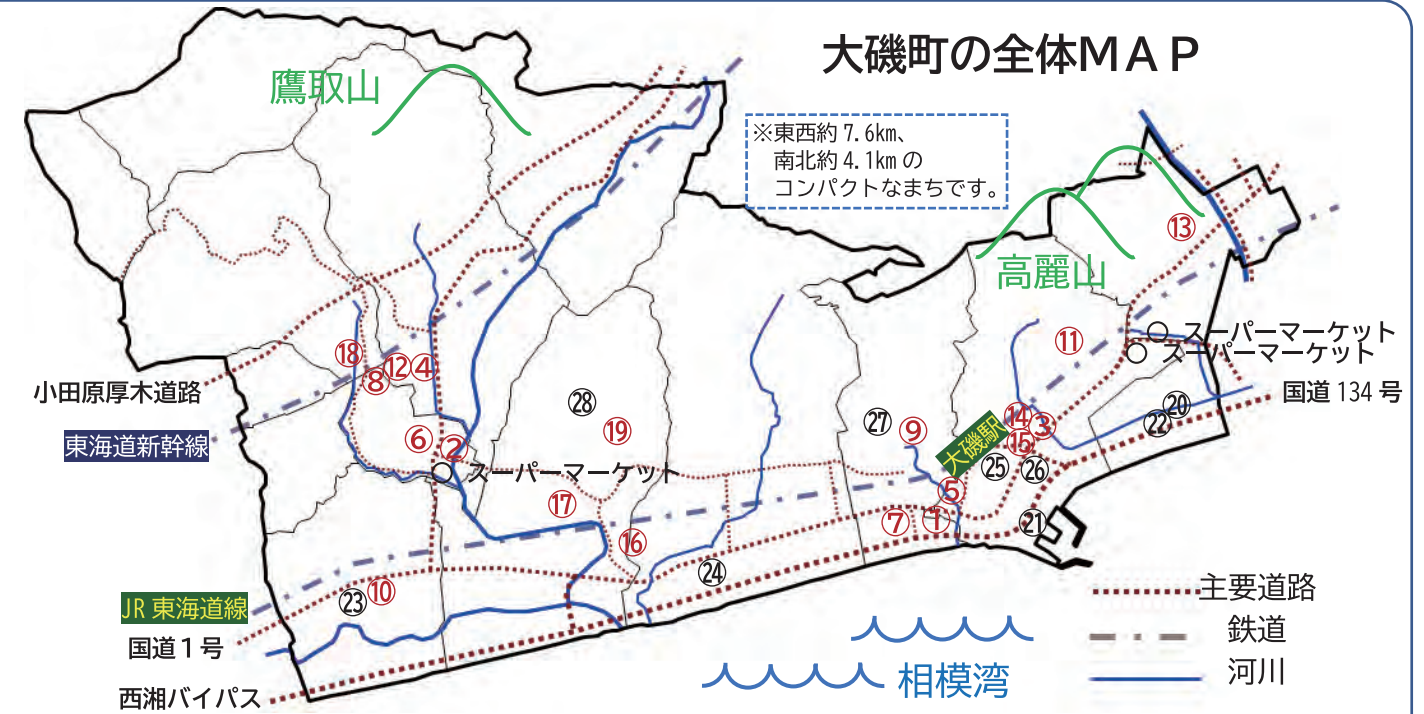
町と連携協定を結んでいる移住支援団体で、移住希望者の相談窓口や支援活動を行っています。

公式ウェブサイトでは先輩移住者の声など移住に役立つ情報を発信しています。

<https://www.oisonisumu.com>
運営 (一社) 海鈴大磯
問合せ
080-5002-1038 代表理事 富山
office@oisonisumu.com



移住サポート



❖ 暮らす

・チャレンジフェスタ

毎年10月頃に開催されます。運動公園でいろいろなスポーツを体験したり、からだのケンサをしたりして家族や友達といっしょに1日健康的にすごせるイベントです。



・空き家バンク

空き家の所有者と空き家を必要とする人をつなぐ「大磯町空き家バンク」を運用しています。
皆さんが望む条件と合致した掲載物件は、すぐに成約済になってしまうこともあります。



空き家バンク

・各種健診

がん検診の一部助成や町独自の健診（妊産婦歯科健診、2歳児歯科健診）など、赤ちゃんから高齢者までの健診（検診）が充実しています。
定期的な健診で健康づくりをサポートします。

・予約型乗合タクシー

町内は、大磯駅を中心に、主要道路に路線バスが運行されています。一部の交通不便地域では、利用できる地域や目的地を限定した予約型乗合タクシーを運行しています。タクシー車両を利用して、郵便局や、駅、スーパー等へ移動できます。
(要利用者登録)



乗合タクシー



❖ 働く

・創業者支援利子補給金交付制度

創業のために必要な融資に係る利子の一部を補給します。(10万円上限)

・小規模事業者販路開拓支援補助金

大磯町で創意工夫を凝らし、持続的な経営を行う事業者に対して、販路開拓や売上げ拡大のための費用を一部助成します。(25万円上限)

・他にも、勤労者生活資金融資制度、勤労者住宅資金利子補給制度、中小企業金融対策融資・資金利子補給の補助があります。



働く支援制度

❖ 安心・安全

・大磯町公式防災アプリ 「おおいそ防災・行政ナビ」

町からのお知らせや防災や災害に関する情報、生活に役立つ情報が通知される無料情報ポータルアプリです。
防災無線を聞き逃してしまっても、いつでもスマホで内容を確認できます。



防災行政ナビ



防災情報だけでなく、子育て情報、広報紙やごみ収集カレンダーも確認できます。

・防災マップ

土砂災害や洪水浸水想定などの情報を掲載した各種防災マップを作成しています。

また、防災・減災意識の高まりから住民主体、町主体双方の防災訓練も盛んに行われています。



防災マップ



空き家を利活用して移住する方、事業を行う方が増えています。

❖ 育てる

・小児医療費助成制度

公的医療保険が適用される治療費の自己負担分を助成しています。令和2年10月から通院の助成対象を中学校卒業まで拡充し、所得制限を撤廃しました。



小児医療費助成



・子どもの居場所づくり

・朝の子どもの居場所づくり事業

小学校の始業前に学校施設などを利用して、子どもたちの安全・安心に過ごすことができる場所を設けています。
対象：町立小学校へ通学している1年生から6年生までの児童（要会員登録）
実施日：毎週月曜日～金曜日
午前7時15分から
登校開始時まで



朝の居場所



・子育て支援センター

町の東西に1か所ずつある子育て支援の拠点です。子育て支援センターは子どもと保護者が友達の輪を広げて交流する子育ての広場です。また子育てアドバイザー、子育てコンシェルジュ、子ども発達相談員などが、子育ての不安や悩みに寄り添って対応します。



支援センター



・放課後子ども教室

放課後や夏休みに学校施設を活用し、子どもたちの安全で安心な居場所を設け、異年齢や地域との交流など様々な取組みを実施する事業です。平成20年度から町内小学校において実施しています。

対象：1年生から6年生までの児童（要参加登録）
実施日：おおむね週に1回（町HPに予定表有）
授業終了後から午後5時まで
（10月～3月は午後4時30分まで）



放課後教室・学童

・学童保育

保護者が就労などの理由により昼間家庭にいない小学生に対し、学校の授業終了後等に適切な生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。町学童保育は社会福祉法人により運営されています。

・一時保育・休日保育

お子さんを一時的に預けたいときには、どなたでも預かり保育が利用できます。

1時間単位で予約可（完全予約制）



預かり保育

・いそサポ赤ちゃん相談室



いそサポ

町保健センターで実施する1歳未満のお子さんとお母さんを対象にした育児ルームです。育児の不安や悩みの解消、お友達づくり、お母さん同士の交流ができます！その他に赤ちゃんに関する総合相談を承っています。

・地域と共にある学校づくり

町内には2つの学区があり、学区内の町立小学校から町立中学校に持ち上がるため、小中のつながりを大切にした教育を行っています。

また、「学校は地域の中にある」という考えのもと、「学校」「家庭」「地域」の三者の連携に加えて、幼小中のつながりを見据え、コミュニティ・スクールの場を活用し、研究、検討を進めています。

・学校給食

町立小学校では、学校内にある給食室で調理した温かくおいしい給食の提供を実施しています。
町立中学校では、希望者がお弁当を注文できる昼食支援を行っています。



昼食支援

・教育相談 教育支援室「つばさ」

横溝千鶴子記念教育研究所では、お子さんの学校生活の心配、教育についての不安など気がかりなことについて相談を受け付けています。

また、併設の教育支援室「つばさ」は、学校を休みがちになった小中学生の教室として、一人ひとりの相談を受け止め、援助をしていきます。



教育研究所

❖ 楽しむ

・生涯学習館

生涯学習拠点である生涯学習館では、小中学生を対象とした『青少年おもしろ講座』や子育て世代を対象とした『ファミリー講座』、様々な視点から大磯を学ぶ『OISO 学び塾』など、豊かに生活するための様々な学習機会の場を提供しています。（申込み制）

・図書館

図書館本館・国府分館の2館があり、電子図書館を令和4年1月に開設しました。おはなし会、映画会、館内展示、ブックスタート、図書館まつりなどボランティア活動も盛んです。読書の興味を広げるため『図書館教養講座』、『児童文学講演会』、『絵本原画展』などの催しも行っています。

・郷土資料館

町の風土や歴史、文化が学べる博物館です。歴史、民俗、自然分野の常設展示のほか、テーマを絞った企画展示を年3回程度開催しています。あらゆる世代の方々にご利用いただける施設です。また、博物館資料を整理、調査するワークショップを実施しています。県立大磯城山公園内にあるため、お子さんのお散歩がてらに立ち寄れば、普段過ごすまじのことに詳しくなるかもしれません。



・各種イベント

海と山が近いこともあり、マリンスポーツや、ハイキング等自らの趣味を楽しむ方が多く見受けられます。また、町広報や、町掲示板等に町主催、または町民活動団体主催の講座、大人から子どもまで幅広く楽しめるイベント情報が掲載されており、活動の幅を広げる機会があります。



発行年 令和4年3月

発行元 大磯町役場 政策課

〒255-8555

神奈川県中郡大磯町東小磯183

0463-61-4100(代表)

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/>(町公式HP)

※ この冊子に掲載されている制度・情報は令和4年2月時点のものです。

また、各支援制度には条件があります。詳しくはお問合せください。



本パンフレットは、神奈川県川崎競馬組合の競馬事業収益金を一部活用して作成しています。